



第70号



2017.05

TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL：088-656-3303

理事長就任あいさつ



公益財団法人徳島県国際交流協会
理事長 黒石 康夫

本年4月1日から公益財団法人徳島県国際交流協会理事長に就任いたしました黒石康夫です。本年3月に開催されました評議員会において理事に選任され、理事会において理事長に選定されました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私は、当協会がJR徳島駅のクレメントプラザに移転してきた24年ほど前に、県庁の総務課で予算等の仕事をしていました。当時、国際関係の仕事は、総務課の中で行っており、私も予算等を通じて仕事に関係していたことを覚えております。また、当時、民間の国際交流団体に所属しており、年間を通じて、クリスマス会や、花見、タケノコ掘り、海水浴など、外国から来られた方々との交流会や、駐日大使が県庁に表敬に来られたときに、御案内させていただいたことなど、かなり昔のことですが国際交流的な活動をしていたこともありました。このたび理事長に就任しましたが、少なからず御縁を感じているところでございます。

現在、当協会では、平成28年度に策定いたしました「地方創生・財政健全化計画」のもと、「多文化共生による地方創生の推進」を経営方針として、「多文化共生によるまちづくり」、「国際交流・協力の推進」、「国際理解の推進と次世代を担う国際感覚豊かな人材の育成」及び「財政運営の健全化の推進」を柱に、財団運営に取り組んでいるところでございます。

平成32年には、東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。また、財団設立30周年を迎えることになります。外国人の訪問客は、予想を超える速さで増加しており、当協会の活動の重要性は、ますます高まるものと思います。さらに、南海トラフ巨大地震の発生が切迫しており、在住・訪日外国人の災害時の支援は、喫緊の課題となっております。平成32年を見据え、取組を一層強化して参りたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも、国際化を通して、徳島県の地方創生の推進に寄与できるよう、また、地域国際化の中核拠点として発展できるよう、事業を展開して参りますので、皆様方には、引き続き、御指導・御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。

公益財団法人徳島県国際交流協会

平成29年度事業計画

○国際交流及び国際協力の推進

★阿波おどり交流事業

時期：平成29年8月14日（月）

場所：市内演舞場

- ・伝統的な郷土文化である阿波おどりにおいて、在住外国人と県民による混成連「あらそわ連」でおどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善を図ります。

★ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：秋頃

場所：徳島県内

- ・徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施致します。受入に興味のある方はお問い合わせ下さい。

★在外県人会及び海外移住家族連絡交流事業

★中高校生夏期英語セミナー

時期：平成29年8月12日（土）～14日（月）

場所：徳島県内

- ・外国語指導助手（ALT）と県下中学生、高校生を対象に宿泊施設で合宿を行い、英語によるコミュニケーションをとおして地域の国際化を担う青少年の育成を図り、異文化理解を深めます。

★外国人による日本語弁論大会

時期：平成29年7月23日（日）

午後1時30分～午後4時30分

場所：あわぎんホール 5階小ホール

- ・県内在住外国人が日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流会を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。

○多文化共生及び国際理解の推進

★外国人にやさしい徳島づくり推進事業

★ ONE WORLD こども支援事業

○国際交流・多文化共生・国際理解に係る情報の収集及び発信

★とくしま国際戦略センター推進事業

★情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行

★機関誌「TOPIA」の発行



あらそわ連



ホームステイ・ホームビジット



中高校生夏期英語セミナー



○受託事業

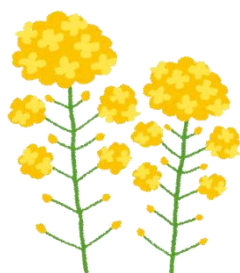
- ★外国青年招致事業
- ★国際交流・協力ボランティア普及事業
- ★徳島で暮らす外国人のための日本語教育事業
- ★外国人にやさしい徳島づくり推進事業
- ★とくしま国際戦略センター推進事業
- ★外国人観光客案内事業
- ★旅券発給補助事業



防災センタースタディツアー



国際理解支援フォーラム



○H29年度新規事業

★大規模災害時（外国人被災者）対応訓練

- ・大規模災害時に徳島県と共に設置する「外国人相談センター」が機能するよう、徳島県や徳島地域留学生交流推進協議会と連携し、留学生や在住外国人が参加した災害対応訓練を実施いたします。

★県・市町村国際交流協会連絡協議会の構築

- ・県及び市町村の国際交流協会をメンバーとした連絡協議会を立ち上げ、災害が発生した際に迅速に対応できる協力・支援体制を構築いたします。

★「地震から命を守る防災ハンドブック」改訂

- ・平成24年度に当協会が作成した「地震から命を守る防災ハンドブック」を改訂いたします。



改訂いたします！



日本語教室



専門ボランティアスキルアップ



TOPIA ニューフェイス

徳島県国際交流員 張 楠



左から(高橋さん、張さん、藤井さん)

初めまして、四月から徳島県の国際交流員として働いている張楠と申します。これから一年間、TOPIAの一員になって、国際交流や「阿波生活」の編集などの仕事に携わります。また、自分がやりたいことと挑戦したいことに迷わずチャレンジし、普段の生活でもいろいろ見たり体験したりして、仕事以外の場においても活躍したいと思います。

今まで旅行やイベントの参加で何回も日本に来ましたが、滞在時間は短くて日本の魅力を十分に味わうことができず、とても残念でした。

今回、徳島に着いてからまだ一週間経っていま

せんが、すでに徳島ラーメンを食べたり、阿波おどりの演舞を見たりして、活気に溢れた、素晴らしい町だとつくづく感じています。

これから、おいしい食べ物や美しい景色をいっぱい味わい、地元の方たちと一緒に阿波おどりを踊り、徳島の歴史と文化への理解を深めたいです。そして、徳島の魅力を湖南省及び中国に発信したいです。それと同時に、湖南省や故郷の安徽省の魅力を日本の方々にお伝えして、草の根レベルの国際交流の新しい懸け橋と繋がりになりたいです。

今後一日でも早く国際交流に役立つ人材となれるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

長期社会体験研修生 藤井 紀代美

みなさま初めまして。藤井紀代美と申します。主に中学校で英語を教えてきましたが、今年度長期研修生としてスタッフに加えていただきました。国際理解支援講師派遣や職場体験など、学校教育との橋渡しを中心に担当いたします。

いま学校教育は新しいステージにあります。グローバルな人材を育成するため、国際交流を通じて、多文化理解を深めること、多様な人々がともに生きるための人権感覚を高めること、それらを実践していくためのコミュニケーション力を身につけること等を目指した取り組みが展開されています。さらには子どもたちの将来のビジョンに発展させるためのキャリア教育の充実も図られています。

なかでも英語教育においては、言語学習を通しての他文化理解、アイデンティティの醸成、コミュニケーション能力の育成がより一層望まれており、平成32年度に向けて、小学校3年生からの英語活動、5年生からの教科化へと移行しつつあり、それに伴って中学校、高等学校、大学入試等も新しい課程へと変化しつつあります。

今後ますます、身につけた英語を単に伝達のツールとするのではなく、人間どうしの繋がりを深めるために活かすことができる人材を育て、その素地となる豊かな国際感覚を子ども時代から育むことが求められます。教室での国際理解のための学習活動は大切な学びの機会となります。

TOPIAにおいて、新しい学びへの取り組みをサポートをしていながら、一つでも多くのことを身につけ教育実践の現場へ持ち帰りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

(一財) 自治体国際化協会臨時職員 高橋 陽子

皆さん、はじめまして。私は4月からトピアでお世話になっております高橋陽子と申します。

4月から仕事が始まってから早や1か月が経とうとしていますが、分からない事ばかりで毎日トピアの皆さんに迷惑をかけながらも頑張っています。

私の趣味はドライブ、写真撮影、ギター演奏、料理、その中でも旅行が好きで国内はもちろんですが、国外では韓国によく行きます。初めは何も分からず友達に付いて行くだけでしたが、何度か旅行に訪れる際に人と「もっと話したい」、文化を「もっと知りたい」と思い韓国語の勉強を始めました。今はまだ十分な会話はできませんが、もっと勉強して来所された方にご案内ができるようになりたいです。

今まで漠然としたイメージだった「国際交流」。「いつか」「縁があったら」と思っていました。こんなにも早く携われるとは思いませんでした。在職中にしっかり見て、聞いて、色んな事を吸収したいと思います。

まだ不慣れでご迷惑をお掛けする事が多いと思いますが、1つ1つ、1日1日を大事に頑張っ参りますので、よろしくお願いいたします。

公益財団法人徳島県国際交流協会主催 2017年度外国人による徳島県日本語弁論大会出場者募集中！

お知り合いの外国人の方にぜひおすすめ下さい！

1. 日時・場所 2017年7月23日（日）13：30 ～ 16：30
あわぎんホール（徳島県郷土文化会館） 5F 小ホール
2. 応募資格 徳島県内在住の日本語を母語としない外国人（日本での義務教育を3年以上受けていない方。また前回までの上位入賞者を除きます）なお、書類選考があります。
3. 応募締切 2017年5月29日（月）17時必着
4. テーマ この大会の開催趣旨に沿ったもので、異文化理解・多文化共生に関するものであれば自由です。
5. 弁論時間 一人当たりの発表時間は、6分以内とします。
6. 主催／出場申込先 公益財団法人徳島県国際交流協会（トピア/TOPIA）
＊詳細は当協会(とくしま国際戦略センター)のホームページをご覧ください。



TOPIAでは観光案内もしています！

当協会は徳島県国際観光テーマ地区推進協議会から外国人観光客案内業務の委託を受け、日本政府観光局の「JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2」認定観光案内所として観光案内を行っています。当協会では徳島県に関する多言語パンフレット等を常時設置し、インバウンド対応のため、英語・中国語の多言語電話相談（窓口案内）員が常駐しています。

平成28年度には約60カ国・地域の外国人観光客が当協会を訪れ、徳島県の観光地、公共交通機関等に関する様々な質問がありました。正確な情報提供ができるようスタッフ同士で常に情報共有し、円滑に観光案内できるように努めています。



当協会の多言語相談員は観光案内のみならず、県内在住外国人の方への生活相談や他機関への相談の橋渡しも行っています。お知り合いの外国人の方に当協会のことをご周知下さい。



5回目の歩き遍路を終えられたモリス ブラウンさんがTOPIAを訪れてくれました。モリスさんにTOPIAの印象等をインタビューしました！



旅行者インタビュー

TOPIAをどこで知りましたか。

ー徳島県の事を調べていた時に、インターネットで知りました。

初めてTOPIAを訪れたときの印象はどうでしたか。

ーとても良かったです。スタッフの方が笑顔で出迎えてくれて、的確に必要な情報提供をしてくれました。

どうして徳島県を訪れようと思ったのですか。

ー15年くらい前に四国八十八ヶ所霊場の事を知りました。当時は仕事をしていたので、退職をしてから挑戦しようと思っていました。2011年に退職をし、その年に情報収集のために徳島県を訪れました。

今回の徳島県での歩き遍路はどうでしたか。

ー今回は目標にしていた5回目を無事に終わることができたのでとても嬉しく思います。天候、腰の痛みなどの問題がありましたが、どうにか乗り切ることができました。四国での歩き遍路中に家族、そして友人と呼べるような方たちと出会うことができました。出会った当初は小さかった子ども達でしたが、毎回会うたびに大きく成長していく姿をみるのが楽しみの一つでした。これからも可能な限り四国に足を運びたいと思います。



名 前：モリス ブラウン
出 身：米国ニューヨーク州
来徳歴：6回

JICA四国 国際協力事業活用例

～いつか世界を変える力になる～



○個人の皆さま

～JICA ボランティア事業～

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験・国際協力の志を持った方々を派遣しています。途上国の人々と共に生活し、異なる文化・習慣に溶け込みながら現地の人々と一緒に問題解決に取り組めます。

（活動分野：青少年活動、野菜栽培、PCインストラクター、品質管理、環境教育、自動車整備、看護師、助産師、小学校教育、音楽、スポーツなど ※資格・経験を必要としないものもあります！）



水泳 ミャンマー

○企業の皆さま

～中小企業海外展開支援事業～

日本の中小企業が有する優れた技術・製品を途上国の開発に活用し、開発課題の解決に貢献することを目的としています。開発途上国への海外展開を検討される四国の企業の皆さまを支援します。

○NGO、大学、地方自治体、公益法人等の団体の皆さま

～草の根技術協力事業～

国際協力に取り組む団体の皆さまがこれまで培ってきた経験や技術を活かして、途上国の方々の生活に直接役立つきめ細やかな活動を支援する事業です。四国の技術者・指導者を派遣するとともに、途上国の人々を四国へ呼び、技術指導を行います。

○地域や教育関係の皆さま

～開発教育支援事業～

「環境」・「食糧」・「資源」など我々の日常生活に身近なものごとを通じて、開発途上国と日本とのつながりや、途上国が抱える諸問題や地球的規模課題を考える機会を提供し、市民の方々が国際協力に参加するきっかけをお手伝いします。

<実施内容>

- ・国際協力出前講座－青年海外協力隊などのJICAボランティア経験者や開発途上国からの研修員、JICA職員などを学校や地域に派遣し、講演やワークショップを行っています。
- ・教師海外研修－国際理解教育に熱心に取り組んでいる教員の方を対象に、開発途上国での国際協力活動の現場を視察していただく研修プログラムです。（今年度の応募締切日は5月12日（金）詳しくは下記まで）
- ・その他－エッセイコンテスト、国際理解教育セミナーなど、ご相談に応じます。

～2017年度ボランティア春募集受付期～

2017年3月31日～5月10日

詳しくはJICAのWEBへ！

問合せ

【JICA徳島デスク（TOPIA内）上西】

電話：088-656-3303

メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp



「とくしま外国人支援ネットワーク会員」

＊募 集 中＊

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による
多言語電話相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もございます。是非、ご利用ください。

受付時間：平日 10：00～18：00

T E L：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費 個人会員 一口 3,000円/年度
 団体会員 一口 10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流&異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

在住外国人の方対象の「防災出前講座」を
ご利用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフの巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。

＊申込は当協会まで。

防災出前講座の様子



問合せ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831
徳島市寺島本町西1-61
クレメントプラザ6F
TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616
URL: <http://www.topia.ne.jp>
Email: topia@topia.ne.jp